

大日本帝國政府

國家機密

參事部第二十四號

國家船舶及港灣一元運營實施要綱

昭和二十年三月十五日最高戰爭指導會議決定

三月十五日最高戰爭指導會議決定（第二十號）ニ基キ左記ニ依リ國家船舶及港灣ヲ一元運營ス
本件ハ大東亞戰爭間ニ於ケル臨時措置トシテ處理ス

左記

- 一 大本營ニ戰力會議ヲ附設シ左ノ事項ヲ決定ス
 - (イ) 輸送總量
 - (ロ) 種別
 - (ハ) 順位
 - (ニ) 其他必要ナル事項
- 戰力會議ノ構成員左ノ如シ

0894

大日本帝國政府

内閣

綜合計畫局長官

陸軍

兵站總監部參謀長

海軍

戰力補給部長

陸海軍

軍務局長

陸軍

整備局長

海軍

軍務局次長

軍需省

總動員局長

臨時構成員

海上護衛參謀長

海運監部參謀長

逕達者

海運總局長官

其他所要ノ人員ヲ必要ニ應ジ列席セシム

三大本營ニ海運監部ヲ設置シ國家船舶ヲ一元運營ス

現行機關ハ國家船舶ノ一元運營ニ關シ陸海軍兩總長ノ指揮ヲ受ク

海運監部ハ國家船舶ノ一元運營ニ關シ陸海軍兩總長ノ指揮ヲ受ク

0895

大日本帝國政府

海運總監部ハ陸海軍省運通省海運總局船舶運營會等ノ所要人員

ヲ以テ編成ス

三、海運總局司令官ハ主トシテ陸海軍海上輸送關係者ヲ以テ編成ス

令長官、警備府司令長官、海運總局長官及鐵道總局長官ニ對シ指

示ヲ與フルコトヲ得

四、海運總局ハ國家船舶乘員ヲ統督シ且賞罰權ヲ保有ス

五、海運總局司令官ハ海運總局ノ指示ニ基キ運輸ノ實施ニ關シ海運

地方實行機關ヲ指揮スルコトヲ得

六、港灣揚格力ノ綜合能率發揮ノ爲ニ港灣行政ヲ地方長官ニ一元

ニ所掌セシム

各港灣ニ一元化セル軍ノ揚格指揮官ヲ常置ス

特ニ強力ニ短切ニ揚格ノ實施ヲ要スル場合ニハ管區(方面軍)

司令官及鎮守府(警備府)司令長官ハ夫々擔任ニ應シ所在地軍官

民機構ヲ活用(要スレバ指揮)シ以テ揚格ヲ強行ス

運輸通信大臣指揮ノ下ニ

大日本帝國政府

七 船員ノ補充交代等ハ運通省主擔トナリ其ノ現場業務ニ關シテハ
海運總局及船舶運營會主掌シ陸海軍之ヲ援助ス
八 船舶ノ對兵裝ヲ劃期的ニ強化ス又船舶用燃料ノ確保ニ關シテハ
國家的ニ特段ノ措置ヲ講ス
九 以上ノ處理ノ爲現國家機構及其ノ能力ヲ全額活用スルト共ニ必要
ナル行政措置ヲ行フ

0897

大日本帝國政府

備考

一 船舶ノ一元運營トハ戰力會議ノ決定ニ基キ作戰、軍需品、物動

物資ニ亘ル海上輸送計畫及之ヲ伴フ配船ノ實施ヲ關シ

一元運營スベキ國家船舶トハ差當リ百總噸以上ノ船舶トス

二 濠洲ノ一元運營ハ差當リ一元的ニ揚子江ノ綜合能率ヲ發揮スル

ヲ主眼トス

三 海運地方實行機關ハ海軍總司令部、海軍運輸部、地方海運

局、廣島鐵道局及運營會支部トス

(註) 右機關ニシテ同一場所ニ在ルモノハ成ルベク同一建物ニ

於テ勤務ス

0898

大日本帝國政府

船舶及港灣ノ一元運營ニ關スル陸海軍
中央協定(案)

一、海上輸送總司令官ハ海運長官ノ定ムル所ニ依リ運輸ノ實施ニ關シ海運地方實行機關ヲ指揮ス

但シ

(イ) 船舶ノ修理ニ關シテハ艦政本部長之ニ任ジ鎮守府、警備府司令長官其ノ實施ノ責ニ任ズ

右修理業務ノ速達ニ關シテハ別ニ定ム

(ロ) 海上輸送總司令部運航監督官ハ主トシテ海軍軍人ヲ以テ之ニ充ツルモノトシ運航監督ハ運航成績ヲ海運長官、本籍長官及海上輸送

總司令官ニ報告スルモノトス

(ハ) 船員教育中護衛及海軍豫備員ニ關スル事項等ノ實施ハ鎮守府、警備府司令長官之ニ任ジ當面必要ナル事項ニ關シテハ其都度海上輸

送總司令部及鎮守府、警備府之ニ當ル其ノ實施ノ細部ハ別ニ定ム

(ニ) 船舶準備(裝及炭水補給)及船員給與ノ基本ハ中央之ヲ決定ス

0899

大日本帝國政府

ルモ其ノ實施ニ關シテハ海上輸送總司令官之ヲ主掌シ鎮守府、警備府司令長官之ヲ援助ス

三、海軍ハ船舶修理期間ノ短縮ニ努ムルト共ニ船舶司令部修理部長（所

要ノ人員ヲ附ス）ノ職ニ武官ヲ充ツ

其ノ他陸海軍ハ相互ニ必要ナル機關ニ夫々常勤參謀ヲ派遣ス

三、重複スル陸海軍運輸機關、何レカノ機關ニ逐次統合シ部員部附ハ陸

海軍兼勤トス

四、本案ハ其ノ實績ニ依リ必要ニ應ジ所要ノ修正ヲ行フコトアルモノト

ス

（終）

0900